

## 第6回「ハイ・サービス日本300選」受賞企業・団体発表について ～7月17日（金）11：00より表彰式を開催～

### <第6回として26事例を選定>

サービス産業生産性協議会では、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み(ベストプラクティス)の表彰・公表を通じ、企業の一層の取り組みを喚起し優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上に努めるために「ハイ・サービス日本300選」を実施しています。このたび、**第6回表彰として26の企業・団体を別紙の通り決定**しました。いずれの企業・団体もチャレンジ精神を持ち、創意と工夫でイノベーションと生産性向上を実現しています。

これらの取組をご紹介する機会として、**7月17日（金）11：00**より、KKRホテル東京（千代田区・竹橋）において表彰式を開催いたします。是非とも取材にお越しください。

### <選定委員（プレゼンター：予定）>

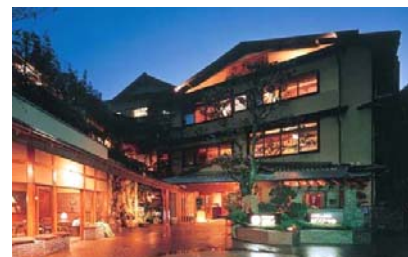
委員長 村上輝康 野村総合研究所シニア・フェロー

委員 伊藤元重 東京大学大学院教授 / 小林英俊 日本交通公社常務理事 / 野原佐和子 イプシ・マーケティング研究所代表  
橋本和仁 東京大学大学院教授 / 藤川佳則 一橋大学大学院准教授 / 藤沢久美 ソフィアバンク副代表

### 事例①<株式会社 御所坊（有馬温泉）>

#### ・魅力的な観光メニューの創出で、まち全体の活性化に貢献

御所坊(主人金井氏)が中心となり、有馬温泉における「食」の魅力づくりや、震災復興イベントとして企画した温泉入浴と昼食をセットにした「ランチクーポン」、廃業した旅館を利用した有馬玩具博物館を開館させるなど、「泊食分離」の観光メニューや新しい観光スポットが創出された。それにより、有馬温泉全体の日帰りを含めた観光客が増加し、地域の活性化や雇用創出に大きく貢献している。



海外スタッフの雇用など

国際化への取り組みも行なう御所坊

### 事例②<NPO法人 ハットウ・オンパク>

#### ・地域資源活用と人材育成を推進する、体験交流型プログラム(=オパク)を提供

地域資源を活かした多彩なプログラムによる各種サービス産業の成長や、住民の健康で前向きな暮らしと生活の質の向上、オンパク参加による旅行者の長期滞在とリピート化などを具体的な目的としており、これをモデルとした同様の取り組みが、現在、函館、福島、石川、岡山、長崎など全国各地に広がっている(左図)。



### 添付資料

1. 「ハイ・サービス日本300選」について
2. 「ハイ・サービス日本300選」第6回受賞企業・団体
3. 「ハイ・サービス日本300選」第6回受賞企業・団体プロフィール

※サービス産業生産性協議会（代表幹事：牛尾治朗・ウシオ電機(株)代表取締役会長）は、サービス産業のイノベーションや生産性向上に向けた国民運動を展開する母体として、産業界、大学関係者、関係省庁などの幅広い参加のもと、平成19年5月10日に設立されました。

**【お問合せ先】** サービス産業生産性協議会事務局（担当：下村、斉藤、山野）  
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-6-15 愛光ビル8F（財）日本生産性本部内  
tel:03(5251)3841 fax:03(3593)8450 <http://www.service-js.jp> Mail:M.Shimomura@jpc-sed.or.jp